

令和4年6月21日

市内小中学校 校長 殿
保護者の皆様

うるま市教育委員会
教育長 嘉手苺弘美
(公印省略)

学校における新型コロナウイルス感染症対応〈令和4年度第3号〉 ～児童・生徒がマスクをとることについて～

熱を帯びた南風が吹き、セミの声がだんだんと大きく聞こえ始め、梅雨明けを教えてくれる今日この頃です。各家庭におきましては、これまでと同様に新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力くださるようお願い致します。ついては令和4年6月13日付け教保第420号「夏季における児童生徒等のマスクの着用について」に基づき、マスクの着脱について確認します。ご理解とご協力をお願い致します。

○マスクの着用について(基本的な対応)

児童、生徒は会話をするときはマスクをつけましょう。身体的距離(できるだけ2m、最低1m)がとれないときはマスクを着用します。ただし、今後、暑くなることから以下のとおりに対応していきます。

1. これから暑い日が続きます。熱中症になるおそれが高いため、児童、生徒が学校へ登校するとき、学校から下校するときはマスクをとるようにさせていただきます。

(1) 熱中症は命にかかわる危険があるので、熱中症への対応を優先させてください。

(2) 教師、保護者、大人は児童、生徒が暑さで息苦しいと感じた時には、マスクをとるように声かけをしてください。

特に、息苦しくても自分でマスクを外してよいか判断ができない小学校低学年の児童には保護者は登校時に、教師は下校時にマスクをとるよう声かけをしてください。その際、人と十分な身体的距離をとり、会話を控えることもあわせて伝えてください。

(3) マスクを取っている場合は、各家庭や地域のハイリスク者(高齢者や基礎疾患を有する人)との接触をさけてください。また、地域の自治会・敬老会等にマスクを取ることが、熱中症から子供の命を守る対応であることの理解を求めてください。

※ 熱中症危険度のめやすである暑さ指数(WBGT)はQRコードから確認できます。



暑さ指数(那覇)

2. 体育の授業、運動部活動の活動中は、体温が高くなり熱中症のおそれが高いため、マスクをとるよう指導します。その場合は他の人と距離をとる、会話をしないなどの対策を行います。

※※ 運動部活動は各競技団体のガイドラインに準じて必要な対策をとります。

3. 様々な理由からマスクの着用を希望する児童生徒に対しては、学校と保護者が確認の上、熱中症対策を適切に行っていきます。